三河 100年企業

繊維ロープ「産地の強み」

カネヤ製綱　蒲郡市形原町

昔ながらのノコギリ屋根が特徴的なカネヤ製綱の本社工場＝いずれも蒲郡市形原町のカネヤ製綱で

あまり知られていないが、蒲郡市は全国シェアの四割以上を占める繊維ロープの産地だ。鋼製のワイヤロープに対し、ポリプロピレンなどの化学繊維か麻などの天然繊維をより合わせて作るのが繊維ロープ。今年で創業百二十年のカネヤ製綱（蒲郡市形原町）は、水産、建設、物流業界など幅広い分野で使われるロープを製造している。

ノコギリ屋根が歴史を感じさせる本社工場。無数に並んだ糸巻きから化学繊維の糸が繰り出され、機械がより合わせていく。原糸から撚糸（ヤーン）を作り、さらに複数本のヤーンをより合わせてストランドと呼ばれる束の状態に。用途によって三～十二本のストランドをより合わせ、ロープができる。

糸をよる工程を繰り返してロープを製造する本社工場を紹介する牧原社長（手前）

本社工場では月三十トンのロープを生産。五代目の牧原昇司社長（四六）は「漁師さんの漁獲や、建築現場の命にかかわるもの。プロのユーザーの好みに対応しながら、高い品質を保っている」と自負する。

かつては漁業用ロープが中心だったが、遠洋漁業の衰退などで漁獲量が減り、顧客の漁師人口が減少。陸上用途の販売を徐々に増やしてきた。ロープは世界中で作られるため、安い輸入品に取って代わられた分野もあるが、今も残る水産や建設分野は「多品種、小ロットで輸入品が対応しづらい。安全にかかわるだけに国産が求められる」。近年は輸入品の比率は増えていないという。

カネヤ製綱はロープの元になるモノフィラメント糸も自前で製造してきた。自社のロープに使うほか、農業用のネットや工業用フィルター向けなど、糸自体を製品として販売している。昨年二月には西尾市に紡糸工場が完成。原料となる樹脂の配合や添加剤などを変えることで、糸の段階から顧客の要望に応じた商品開発ができるのが強みだ。今後は大手の樹脂メーカーなどと協力し、超高強度で擦れにくいロープの開発も目指す。これまで繊維ロープが使われなかった用途にも広げていきたい考えだ。

一九〇〇（明治三十三）年に創業者が一人で機械を回し始めて以来、会社が発展してきた背景として、牧原社長は形原地区の「産地の強み」を挙げる。

すぐ近くに事務所がある中部繊維ロープ工業協同組合に加盟する二十五社は、大半が地元。形原が全国随一の集積地になったのは、明治初期に地元の小島喜八（一八四三～一九一四年）が独自の麻糸製造機を考案し、周囲に広めたのが大きい。その後も機械の改良が重ねられ、ロープの染色、加工、機械の修繕などを含めて多くの関連業者が今も稼働する。

「いろんなロープメーカーが立地する産地だからこそ、大手化学メーカーとも直接やりとりできる。同業者はライバルだが、協力できるところは協力している」と牧原社長。引っ張り強度などの試験機を備えた組合を中心に品質管理を徹底し、切磋琢磨しながら国産ならではの歩みを続けている。（木下大資）

カネヤ製綱　カネヤは屋号によく用いられる「カネ」と創業者、牧原安三郎の名の読みの頭文字「ヤ」を組み合わせた。繊維ロープ、モノフィラメント糸の製造に加え、電子機器組み立て部門もある。西尾工場のほか、北海道釧路市に工場がある。従業員118人。年商は約20億円。

東三河版

秋
糟谷護
中部一水会

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp
豊橋総局　〒440-0806
豊橋市八町通4－52－1
0532-52-7181　Fax54-4655
岡崎支局
0564-22-1661　Fax25-1554
豊田支局
0565-31-3200　Fax31-3203
豊川通信局
0533-86-2305　Fax82-1575
新城通信局
0536-22-0242　Fax23-3811
蒲郡通信局
0533-68-2437　Fax66-1465
設楽通信部
0536-62-0269　Fax62-1577
田原通信部
0531-22-0269　Fax23-2889
中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800　Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp
広告のお申し込みは
広告局三河アドセンターへ
岡崎 0564-23-3051（代）
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

医療法人 秋田病院
●整形外科　●リウマチ科
●内科　●胃腸科
●リハビリテーション科
（その他7科目）

きのうの豊川用水　1日

合計貯水量	4,450万トン	85.9%（▼0.4ポイント）
宇連ダム	2,357万トン	83.0%（▼0.5ポイント）
大島ダム	995万トン	88.1%（▼0.2ポイント）